

モン・スポ平成 28 年度活動報告

1、総会

平成 28 年 5 月 28 日（土）午前 11 時から（公財）日本バレーボール協会会議室。

▽人事について

戸倉康行氏(会計担当理事)退任、鳴原正法氏(会計担当理事)就任。

▽賛助会員会費について

入会金（3,000 円）を廃止、年会費 2,000 円を 3,000 円とする。

1、国際連帯事業

▽「アジアスポーツフェスタ 2016」11 月 6 日（日）神奈川県立横浜国際高等学校。参加者約 340 名（ボランティア、運営スタッフ含む）。仲真美子会員所属の国際ソロプチミスト東京・山の手では両面カラーのチラシを作成して、応援の寄付金を募集。30 万円の支援金を受ける。この他、南陵ロータリークラブなど団体、個人からの寄付金によって、日本スポーツ振興センターの助成金なしで実施。金メダリストら理事、会員約 20 名が運営に携わった。

▽「ネパール女子バレーボール選手支援」チャウラリ・サラスワティさん（20）＝ネパール警察勤務、180 ㎝＝が、2016 年 8 月 15 日から 2 週間、筑波大などでトレーニング留学。日本滞在の資金援助するため寄付金募集をすることになり、税控除等のため受け入れ口座を提供した。

▽「地雷のない土地でボールを手に・カンボジアプロジェクト」スポーツ・フォー・トゥモロウのプログラム、発展途上国等におけるスポーツの機会の提供支援事業として（公財）日本バレーボール協会が委託を受けて行った事業にモン・スポから業務統括責任者として宮嶋泰子理事（JVA 理事）、現場業務責任者として渡辺孝正会員が参加。2017 年 2 月 9 日～13 日、カンボジア王国バタンバン州タサエン地区で子供を対象にしたバレーボール教室などを実施した。指導に当たったのは大谷（現姓松野）佐知子（ロス五輪銅メダリスト）、坂本清美（アトランタ五輪代表）、ビーチバレーボールの田中姿子（元日立）の 3 名。

1、助成金事業

▽日本スポーツ振興センター助成事業①「アジアスポーツフェスタ 2016」②「バレーボール教室&シンポジウム」については申請、受理されたが、精算をめぐるトラブルから 5 月に取り下げる。「一教室&シンポジウム」は 3 開催とも中止。

▽こども夢基金助成「キッズバレーボール教室」3 件を実施。運営担当＝加藤勝久理事。

・1 回目＝2016 年 12 月 3、4 日（土、日）、福井県大野市・多田記念大野有終会館。講師・神白高子理事、ヨーコ・ゼッターランド氏（米国代表バルセロナ五輪銅メダリスト）。主催・モン・スポ、FBC 共同実行委員会。後援・（公財）日本バレーボール協

会。

・2回目=2017年2月19日(日)、新潟県新発田市・豊浦体育館。講師・田中克子副代表理事、山下美弥子氏(ソウル五輪代表)。主催・モン・スポ。後援・(公財)日本バレーボール協会、テレビ新潟。

・3回目=2017年3月25, 26日(土、日)、秋田市文化会館、茨島体育館。講師・荒木田裕子事務局長、山内美加氏(バルセロナ、アトランタ両五輪代表)、長崎宏子氏(水泳、ロス五輪代表)、小林範仁氏(スキー複合、ソルトレイク、トリノ、バンクーバー五輪3大会代表)。主催・モン・スポ。後援・(公財)日本バレーボール協会、秋田テレビ。

1、スポンサー事業

▽JA全農ミートフーズ協賛「ちびっ子バレーボール教室と食育講座」7月23日(土)三郷市総合体育館。講師・神白高子理事、大友(現姓秋本)愛氏(ロンドン五輪銅メダリスト)、内藤香菜子氏(元NEC)、岩田敦彦氏(JVA)。主催・モン・スポ、(公財)三郷市文化振興公社、後援・三郷市教育委員会、三郷市スポーツ少年団、協賛・JA全農ミートフーズ(株)、雪印メグミルク。

▽「女性スポーツ勉強会」(主催・モン・スポ)総合コーディネーター=宮嶋泰子理事(テレビ朝日スポーツコメンテーター)

・第6回『リオ五輪から学ぶ』=2016年10月1日(土)午後1時から渋谷・東京ウイメンズプラザ。参加者約310名。講師・井村雅代氏(シンクロナズドスイミング・コーチ)、山下佐知子氏(女子マラソン・コーチ)土田和歌子氏(パラリンピック陸上競技、車いす選手)、峰村史世氏(パラリンピック水泳監督)。パネリスト・荒木田裕子事務局長(日本バレーボール協会強化事業本部長)、高尾美穂医師(婦人科)、中村格子医師(整形外科)。特別協賛・日本水産(株)、協賛・太陽化学(株)、(株)ポピンズ。

・第7回『女性の体の基礎を知る』=2016年11月25日(金)午後5時半から盛岡市アイーナいわて県民情報交流センター。参加者約170名。講師・白井(現姓高木)貴子理事、有森裕子氏(女子マラソン、バルセロナ五輪銀、アトランタ五輪銅メダリスト)、中村格子医師(整形外科)、蓮尾豊医師(産婦人科)。パネリスト・片岡純子氏(陸上競技長距離ランナー)、苔米地美智子氏(カーリング、ソチ五輪代表)。

主管・女性スポーツ勉強会 in いわて盛岡実行委員会。協賛・大塚製薬(株)ほか27団体、2個人。

・第8回『女性の体とスポーツ』=2017年1月29日(日)午後1時から岐阜県瑞穂市・朝日大学。参加者約340名。講師・武田美保氏(シンクロナズドスイミング、アトランタ五輪銅、シドニー五輪銀、アテネ五輪銅メダリスト)、村田由香里氏(新体操、シドニー、アテネ両五輪代表)、伊藤加奈子医師(産婦人科)。鼎談(ていだん)・金藤理絵氏(水泳平泳ぎ、リオ五輪金メダリスト)、佐藤希望(フェンシング、リオ五輪代表)、聞き手・宮嶋泰子アナ。パネリスト・大友克之氏(朝日大学学長、整形外科)

医)。共催・朝日大学、(公社)ぎふ瑞穂スポーツガーデン。協賛・(株)アクアバンク、大垣共立銀行。㊦鼎談は“3人で向き合って話し合うこと”、対談は“二人で向き合って話し合うこと”、座談は“何人かで向き合って話し合うこと”。

1、バレーボール教室

▽「一流に学ぶ！ バレーボール教室」2016年11月20日(日)午前9時から館山市営市民体育館。指導・吉田昌子代表理事、田村悦智子理事。

主催・館山市教育委員会。

▽NPO法人南千住SCの好意で「バレーボール教室&シンポジウム」を2017年2月上旬、開催予定もモン・スポの都合で日時の折り合いがつかず取りやめ。

この他、会員それぞれが居住地等で開いているケース多数。

1、社会支援活動など

▽義捐金 熊本地震(2016年4月16、17日)3万円=JA全農ミートフーズ・ちびっ子バレーボール教室=。岩手・岩泉町水害(2016年8月末、台風10号)10万円=第7回女性スポーツ勉強=。

▽熊本地震義損「バレーボール教室」2016年7月2日(土)、熊本・南区の市立田向西小学校体育館。小学生を対象。指導・吉田代表、西川樹理理事、宮嶋泰子理事。

5月末、JVAへ市立東小学校バレーボール部員の父親からJVAへ1通の手紙。「地震で体育館が壊れ、子供たちが寂しがっている。元気付けてやってほしい」が発端。水野正人名誉顧問(ミズノ会長)の尽力で「こころはひとつ」とプリントしたTシャツプレゼントした。

1、PR活動、その他

▽「リオ五輪バレーボール女子日本代表壮行会」2016年7月20日、東京・港区のグラウンドプリンス新高輪で行われた。モン・スポからは、金メダルはがきを添えて、花束を吉田昌子代表理事から木村沙織主将へ贈った。

▽NPO法人うえだミックスSCチアチームの米国遠征(2016年4月29日~5月1日・米国フロリダ)に際し、5万円寄付。

▽「7月31日はモン・スポの日」1976年7月31日(日本時間)は、モントリオール五輪の決勝でソ連を3-0で破った日。あれから40年の7月31日、金メダリスト7名は故山田重雄監督(享年66)の眠る八王子市に集まった。岡本(旧姓中野)真理子さんは負傷癒えない左足を引きずりながら大阪から。墓参りの後、市内の催し場の一室で食事会。丸山(現姓吉住)世津子マネジャー(八王子在住、所用で欠席)手作りの『祝モントリオール・オリンピック女子バレー金メダルの会』の看板を前に、決勝戦のビデオを見ながら会食した。

▽新聞掲載

・読売新聞 「レジェンド再訪」過去、偉業を達成した人の今の活動に迫る。7月23日のちびっ子バレーボール教室から取材が始まり、31日の“モン・スポの日”も帯同。

神白高子理事をメインに3分程度の動画とテキストで構成、8月中旬公開された。

・報知新聞 「あの時」2017年1月10日付から14日付まで。モントリオール五輪の金メダルを軸に高木貴子理事の半生を5回連載した。

・河北新報 「敗れざる人」2017年3月28日付から31日付まで。モントリオール五輪後の活動を軸に荒木田裕子事務局長の半生を4回連載した。

この他、モン・スポの行った各事業をそれぞれの地方紙がニュースとして報道した。

1、表彰

▽「第4回スポーツ振興賞」（公益財団法人スポーツ振興産業団体連合会など主催）に応募も2016年6月下旬、落選の通知。

▽宮嶋泰子理事、JOC女性スポーツ賞受賞 2017年3月27日に開いた日本オリンピック委員会の理事会で決定。スポーツ関係者以外では初。表彰は6月9日。

1、NPO法人日本バレーボール・オリンピックの会（VOJ）との連携

奥本浩平理事が個人でVOJ事務局の手伝いをしている。組織形態、活動内容が異なるため簡単に合併は無理。小泉勲VOJ理事長もこのことを理解しており、協力できるものは協力する、という関係でやってきた。

1、組織強化と財政確立

会員数（正会員7、賛助会員=個人21、団体2）は確実に増えた。が、既存会員の年会費納入は、まだ不十分。財政面では、助成金の精算をめぐって日本スポーツ振興センター（JSC）から2016年11月に処分（H28年度以降5年間助成金申請不可）を受けた（詳細は会計報告参照）。理事以下会員のスポンサー獲得など財政強化への働きかけは不十分。

1、会員数（2017年3月31日現在）

理事18、監事2、正会員41、賛助会員56

以上